

2017年 2月 8日

町田市長 石坂 丈一 様

町田市福祉のまちづくり推進協議会会長
川内 美彦

第2次町田市福祉のまちづくり推進計画について（答申）

貴職より、2016年8月2日に諮問されました、第2次町田市福祉のまちづくり推進計画について、別紙のとおり答申いたします。

2017年2月8日

町田市長
石坂 丈一 様

町田市福祉のまちづくり推進協議会
会 長 川内 美彦

町田市福祉のまちづくり推進協議会の答申への付帯意見

答申に関して、会長として付帯意見を述べます。

①縦割りの問題について

第2次福祉のまちづくり推進計画の素案に関する検討において、縦割りの問題が指摘されました。地域の問題は複合的な要素を持っていて、地域そのものが高齢化する中で、活動の担い手の不足、施設の問題、人間関係、コミュニティの衰退といった複雑な要素が絡み合っており、市の一部署に相談してもその部署の権限から踏み出した総合的な取り組みに発展していかない。市民の声を受け止めてくれる柔軟いシステムを求めるといった声でした。

縦割りの問題については市長としても十分ご存知であり、既に様々な方向からご検討になっているとは存じますが、引き続き、市民の多様な声を受け止める柔軟な体制づくりにご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

②町田市福祉のまちづくり推進協議会の開催について

これまで、町田市福祉のまちづくり推進協議会はほぼ常設のような形で開催されてきましたが、今後は開催形態が変更になると伺っています。この協議会には様々な障害のある当事者や、市民活動を行っている方々が委員として名を連ねており、市井の声を直接市に届けるという点において、他では得難い特徴を持っていると思っております。開催形態の変更によって、市と市民との間に開いた窓が小さくならないよう、今まで以上に市民の声を聞くことにご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。